

# 学校だより（後期学校評価結果号）

## 後期学校評価集計結果概要

平成29年 3月16日  
京都市立明徳小学校  
校長 岡本 雅文  
TEL 701-0111

1月下旬に行いました学校評価の集計結果および分析が整いました。報告が少し遅くなり申し訳ありません。

前期同様に、保護者・児童・学校のそれぞれの視点から、確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体）の3つの観点からの児童や学校、それぞれの取組の姿を確かめました。今回、保護者の皆様からは、537枚の解答をいただきました。ありがとうございました。お忙しい中、ご協力を賜りうれしく思います。記述欄において多くのお言葉を頂戴しました。概ね前期同様に高評価をいただいているように思われますが、同じような視点でご指摘いただいてることもあり、十分な取組が進められていないこともあります。後ほど、記述いただいたご意見についてご報告いたします。

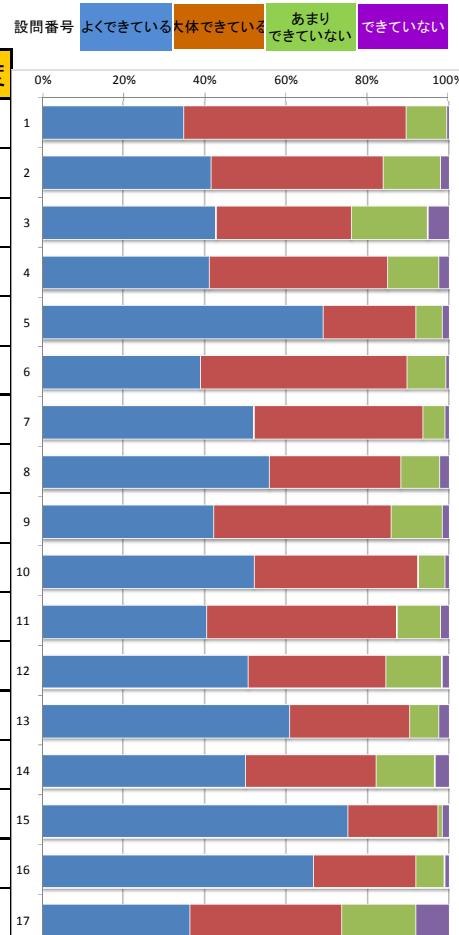
【資料1】は、児童の実現度（【資料4】参照）を表しています。実現度評価は、5を超えていると概ねできているととらえることができます。グラフや表にして表していますが、子どもたちはすべての項目において、概ね達成しているととらえています。前期と比べてもそれほど大きな違いは見られませんが、実現度が高まっている項目と下がっている項目で二分しています。実現度の高い項目の中でも、「5 おうちで宿題や学習をしている」や「13 給食を好ききらいせず、食べている」「15 交通ルールを守って、安全に登下校している」「16 楽しく登校している」は実現度が6を超えるほどの実現度で、前期よりも項目数が増えています。しかし、概ね達成できてはいるものの「3 自分からすんで本を読んでいる」は3ポイントも実現度が下がっています。また、「2 わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる」も実現度が2ポイント下がっています。確かな学力の項目の中に、2ポイント以上下がっている項目があるところに課題意識を持ちたいと思います。今年度の学習の取組を振り返り、来年度の取組や学習支援を考察していきたいと考えます。また、低下傾向にある項目については、2極化傾向が進んでいると考えられます。これは、学習成果の2極化にもつながっていますので、すべての児童が意欲的に、主体的に、取り組める授業改善や学習集団作りにますます取り組んでいきたいと考えます。学力定着テストやジョイントプログラムの結果なども分析をしながら、今年度の成果と課題を明確にして、教職員で共通理解をして次年度の取組に生かしていきたいと考えます。

最も児童の実現度が低いのは、今回も「17 先生に気軽に相談している」という項目でした。実現度としては、5.0で前期より1ポイント下回っています。概ね達成できてはいるのですが、他の項目に比べると依然残念な結果です。数値だけが、子どもと教師とのかかわりを表現するものではないようですが、子どもの居場所として学校や学年、学級がより機能していくように常に、見直しながら取組を進めていきたいと思います。

【資料2】は、保護者・児童・教職員の三者の実現度を比較したものです。児童は「できている」と評価しているのに対して、教職員は厳しい評価を下しています。また、保護者の方の評価は、項目間の差があります大きくなっています。中には、児童の評価と似通っているものをでてきています。前期にくらべて、保護者の評価は高まっています。多くの項目で実現度が高まっていることをうれしく思っています。下回った項目は「5 おうちで宿題や学習をしている」「14 外遊びなど、進んで体を動かしている」の2項目でした。冬の時期だからということも影響しているのかもしれません。「16 楽しく登校している」「19 学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を行っている」の2つの項目は3ポイントも実現度が高まり、学校の取組や教職員の対応に一定の成果を感じています。しかし、教職員の実現度は下がっています。しかも、実現度4.2前後に多数集まっているという結果となりました。教職員との結果を基にした振り返りの中で、子どもたちに対する期待意識が高いことがわかりました。また、前期よりも後期になり子どもの成長している姿の中で、「学級や学年全体のすべての児童が」という視点で評価しているため、まだまだ自らの課題としていることもわかりました。より高みを目指して取り組もうとしている姿を感じ、保護者の評価と含めて、少しずつではありますが、学校が活性化し子どもの姿に波及しているのではないかととらえています。

## 【資料1】児童の実現度

		児童	よくできている	大体できている	あまりできていない	できっていない	
知	1	めあてにむかって、すすんで学習に取り組んでいる。	193	304	56	4	5.5
	2	わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる。	231	236	79	12	5.5
	3	自分からすんで本を読んでいる。	238	185	105	30	5.3
	4	自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている。	229	244	70	15	5.5
	5	おうちで宿題や学習をしている。	385	127	36	10	6.2
	6	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる。	216	283	53	5	5.5
徳	7	学校やおうちでのルールをまもっている。	289	231	30	6	5.9
	8	自分からすんで、あいさつをしている。	310	179	54	13	5.8
	9	すすんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている。	234	242	70	10	5.5
	10	ひとのいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。	289	223	37	6	5.9
	11	言葉づかいに気をつけている。	225	260	60	12	5.5
	12	苦手なことにも挑戦しようとしている。	282	189	76	11	5.7
体	13	給食を好ききらいせず、食べている。	339	164	40	15	6.0
	14	外遊びなど、すすんで体を動かしている。	278	179	81	20	5.6
	15	交通ルールを守って、安全に登下校している。	419	123	6	10	6.4
	16	楽しく登校している。	371	140	39	7	6.1
独自	17	先生に気軽に相談している。	202	206	101	47	5.0



【資料2】三者の実現度比較 □… 知 □… 徳 □… 体 □… 家庭教育等

	【保護者】	【児童】	【教職員】
6.4	6.4 安全指導	6.4	6.4
6.3	6.3		6.3
6.2	6.2 主体的な学習		6.2
6.1	登校意欲	6.1 登校意欲	6.1
6.0		6.0 バランスのよい食事	6.0
5.9		5.9 思いやりの心 ルールの遵守	5.9
5.8		5.8 挨拶の習慣	5.8
5.7		5.7 挑戦する心 運動意欲	5.7
5.6	思いやりの心 安全指導	5.5 学習への粘り強さ 話す・書く 言葉遣い	5.6
5.5		5.5 学習規律 整理整頓 意欲的な学習	5.5
5.4		5.4	5.4
5.3	ルールの遵守 開かれた学校づくり 家庭地域との連携	5.3 読書の習慣	5.3
5.2		5.2	5.2
5.1		5.1	5.1
5.0	挨拶の習慣 運動意欲	5.0 学校との信頼関係	5.0
4.9	バランスのよい食事 主体的な学習 学校との信頼関係	4.9	バランスのよい食事
4.8		4.8	4.8
4.7	意欲的な学習 学習規律	4.7	4.7
4.6	話す・書く 言葉遣い	4.6	4.6
4.5		4.5	4.5
4.4	学習の粘り強さ	4.4	登校意欲
4.3		4.3	ルールの遵守 思いやりの心 挑戦する心
4.2	活動への参加	4.2	4.2
4.1	挑戦する心	4.1	運動意欲 挨拶の習慣
4.0		4.0	意欲的な学習 整理整頓
3.9	読書の習慣	3.9	3.9 主体的な学習 学習規律 学校との信頼関係
3.8		3.8	3.8
3.7		3.7	3.7
3.6	整理整頓	3.6	3.6 挨拶の習慣
3.5		3.5	3.5

## 【資料3】

H28後期

## 保護者・教職員ニーズ度比較

			重要度	実現度	保護者ニーズ度	重要度	実現度	教職員ニーズ度
1 知	意欲的な学習	めあてにむかって、すんで学習に取り組んでいる。	6.6	4.7	21.8	7	4.1	27.3
2 知	学習への粘り強さ	わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる。	6.6	4.4	23.8	6.9	4.2	26.2
3 知	読書の習慣	自分からすんで本を読んでいる。	6.1	3.9	25	6.6	3.6	29
4 知	話す・書く	自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている。	6.7	4.6	22.8	6.9	4.2	26.2
5 知	主体的な学習	おうちで宿題や学習をしている。	6.4	4.9	19.8	6.6	3.9	27.1
6 知	学習規律	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる。	6.6	4.7	21.8	6.8	3.9	27.9
7 徳	ルールの遵守	学校やおうちでのルールをまもっている。	6.7	5.3	18.1	6.9	4.3	25.5
8 徳	挨拶の習慣	自分からすんで、あいさつをしている。	6.8	5	20.4	6.9	4.2	26.2
9 徳	整理整頓	すんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている。	6.4	3.6	28.2	6.9	4.1	26.9
10 徳	思いやりの心	ひとのいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。	6.8	5.6	16.3	6.9	4.3	25.5
11 徳	言葉遣い	言葉づかいに気をつけている。	6.4	4.6	21.8	6.7	4.2	25.5
12 徳	挑戦する心	苦手なことにも挑戦しようとしている。	6.2	4.1	24.2	6.8	4.3	25.2
13 体	バランスのよい食事	給食を好ききらいせず、食べている。	6.1	4.9	18.9	6.5	4.9	20.2
14 体	運動意欲	外遊びなど、すんで体を動かしている。	6.4	5	19.2	6.3	4.2	23.9
15 体	安全指導	交通ルールを守って、安全に登下校している。	6.8	5.6	16.3	6.9	4.8	22.1
16 独自	登校意欲	楽しく登校している。	6.7	6.1	12.7	6.9	4.4	24.8
17 独自	学校との信頼関係	先生に気軽に相談している。	6.5	4.9	20.2	7	3.9	28.7
18 独自	開かれた学校	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の方針や様子がよくわかる。	6.1	5.3	16.5			
19 独自	家庭地域との連携	学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を行っている。	6.2	5.3	16.7			
20 独自	活動への参加	PTA活動や地域行事に参加・協力できている。	5.4	4.2	20.5			

## 【資料4】

### ★実現度・重要度の算出方法

「実現度」「重要度」については、以下の方法で数値化をしております。

○それぞれの回答を以下のように数値化する

「よくできている・重要である」	…… 7
「大体できている・やや重要である」	…… 5
「あまりできていない・あまり重要でない」	…… 3
「できていない・重要でない」	…… 1

○それぞれの項目の総計を回答者数で割り、平均を出す。

●「無答」は、回答者数から除外し、別途分析する。

※「実現度」は、5を超えていると概ねできているととらえることができます。

### ★ニーズ度とは・・・

「重要度」「実現度」から「ニーズ度」（要求度）を以下の方法で算出することができます。

[ニーズ度の算出方法]

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} \times (8 - \text{実現度})$$

○とても重要（7点）だが、できていない（1点）の場合

$$7 \times (8 - 1) = 49 \quad [\text{ニーズ度の最大値}]$$

○重要でない（1点）で、できている（7点）の場合

$$1 \times (8 - 7) = 1 \quad [\text{ニーズ度の最小値}]$$

○やや重要である（5点）が、あまりできていない（3点）の場合

$$5 \times (8 - 3) = 25 \quad [\text{ニーズがあると判断する境界値}]$$

ニーズ度が25を超える項目、またそれに近い項目についてはニーズがあると判断し、重点課題として考察する必要があります。

【資料3】では、保護者と教職員のニーズ度を比較しています。25を超えるとニーズがあるとの判断でみると、保護者は、「3 自分から進んで本を読んでいる」と「9 すすんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている」にニーズがあります。前期と比較をすると「9」については前期に引き続きニーズが高いですが、「12 苦手なことにも挑戦しようとしている」については、実現度が高まったため、少しニーズ度が下がりました。一方、教職員は、【資料1】にも示したように全体での実現度が下がった分、多くの項目でニーズがあると判断できる結果となりました。教職員の最もニーズがある項目は、「3 自らすすんで本を読んでいる」です。家庭との連携を十分進めしていくとともに、読書の習慣への取組を充実させていく必要があります。前期でもそうでしたが、すこし保護者と教職員の認識に違いがあります。来年度にむけて、家庭と学校との連携が深まるよう、めざす姿を共有化して取り組んでいかなければならぬと思っています。



## 【資料5】

## 平成28年度 学校評価後期実施報告書

## 1 平成28年度 重点評価項目

主体的に思考・判断し、表現する子どもの育成

○学力の向上（授業改善・読書活動の充実・家庭学習の習慣化） ○体力の向上（基本的な生活習慣の確立・運動機会の充実）

○心の教育（公共精神の育成・規範意識の向上） ○開かれた学校の推進（家庭や地域の連携・伝統文化の充実）

2

分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
確かな学力	授業改善	興味・関心 授業の意欲 ジョイントプログラムの結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習調査やジョイントプログラムの結果から、概ね満足できる結果が示されているが、学年による通過率の差も見られ始めてきた。</li> <li>・粘り強く学習することが弱い。最後までやりきることが十分ではないという判断ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力の向上を目指して校内研究の取組を推進していく必要がある。子どもたちが主体的に学習に取り組めるように、学習課題の共有化や単元、1時間の見通しを明確に持てるような授業の構築に学校全体で取り組んでいく。これから社会に生きてはたらく力の育成につながるような研究を推進する。</li> <li>・最後まで徹底して取り組む姿勢が高まるよう、到達内容を子どもと共有し、継続した支援を行う。</li> <li>・引き続き、子どもたちが主体的に思考・判断し、表現できるように、学校教育のあらゆる場で教職員が意識をして、種々の活動を構築していく。子どもに必要な力を明確化、共に有化して、連携を図りながら取組を進める。</li> <li>・読書の充実に向けて、引き続き岩倉図書館との連携をすすめたり、図書室や図書館への活用を意図的に授業の中にも取り入れ、本に接する機会を増やしていく。また、家庭での読書の位置づけなど家庭学習との連動を工夫していく。</li> </ul>
	家庭学習の習慣化	主体的な学習 家庭学習の提出状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びにかかわっての児童の実現度は大変高いが、教職員の実現度は非常に低い状況であることに変わりがないどころか、実現度の差が開いている状況である。</li> <li>・家庭学習に関わっては、ほぼ取り組んでいる状況ではあるが、まだ100%とは言えない。</li> </ul>	
	読書活動の充実	100冊読書の達成状況 図書室の本の貸し出し状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の習慣は学校の取組や運営協議会の方々の読み聞かせなどの取組により、一定の成果は見られるが、依然、保護者、教職員の実現度は低い。子どもの実現度も下がる傾向にあるため、意図した取組の充実が必要となつてきている。</li> </ul>	
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	たてわり活動の実施状況 当番活動の観察・状況把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初よりあいさつやはきものそろえなど子どもたちへの身近な取組の徹底として共通理解をしながら取組を進めてきた成果が少しずつではあるが見え始めている。自分から気持ちよく挨拶をする児童が増えてきている。子どもの実現度も高いが、保護者や教職員との開きは大きいため、引き続き学校全体で取り組んでいきたいところである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して意識をして取組を進めてきたあいさつをすることやはきものをそろえることなど、継続して学校全体で意識をして取り組むことで子どもの変容がみられてきている。引き続き取組を継続することで、どの場面でも、自ら取り組めるようにしていく。</li> </ul>
	規範意識の向上	問題行動件数 あいさつの習慣化・言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の活動を通して、食に関することや畠の先生に関して感謝の思いが育っている。</li> <li>・子ども・保護者の思いやりや心の実現度が高い。それにくらべて教職員の実現度が低く開きが大きい。</li> <li>・生徒指導上の問題は、細かな事案はおこっている状況である。子どもの同士のかかわり方など、その都度見つめなおし、ますますよりよい関係を育んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会活動の取組を見直し、より主体的に、より児童が活躍できる場面を設定していく。</li> <li>・たてわり活動を継続して実施して、つながりをつくるとともに、思いやりの心の素地をつくっていく。</li> <li>・年間計画の充実や系統性を確保して人権学習や道徳学習の取組を見直し、充実させていく。</li> <li>・あいさつやはきものそろえを徹底できるように、常に声を掛け合いながら、指導者も意識して行い、児童の手本となりながら取組を進めていく。</li> </ul>
健やかな身体	自己を大切にする態度の育成	生徒指導アンケート 児童会活動の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒くなったという気候の影響もあるのか、外で遊ぶ児童が減ってきてている。</li> <li>・持久走大会にむけて取り組みなどでは、設定された期間、まじめに一生懸命取り組む児童が多い。</li> <li>・「交通ルールを守って安全に登校している」項目の児童も保護者も実現度が高い。特に子どもの実現度が非常に高いが、地域からの声もあり、横着な登下校の仕方や遊びながら横着な登下校の仕方をしている。PTAの見守り活動があるところと見守り活動がないところでは行動に仕方に違いがあるのかもしれない。規範意識ともつながるので、自ら律して行動ができるように努める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくりにむけて、今年度新たに取組を考案したことを次年度も継続して行い、児童の体力向上に努めていく。</li> <li>・児童会活動を通し、生活習慣の改善に向けて発信できるような取組を考案していく。</li> <li>・安全ノートの活用などを通して定期的に安全面への指導を続けるとともに、命の大切さについて考える時間も定期的に行うことで、自らの命で自らで守ろうとする心情を高め、危機管理意識を養っていく。</li> <li>・登下校の様子について、定期的に振り返る時間を設定し、安全で正しい行動が徹底できるようにしていく。</li> </ul>
	体力の向上	持久走の取組状況の把握及び、体力テストの結果		
学校独自の取組	伝統文化教育の充実	総合的な学習の時間の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明徳農園やわきの山での活動を継続して行っていくことで、本校の伝統を大切に育んでいく。</li> <li>・開かれた学校づくりにむけて、HPを活用したり学校だよりなどで学校の様子を伝えようとしていることが、少しづつ浸透してきていると感じる。しかし、情報の発信には学年間での差が生じてくる。今後の取組を見直し、学校と地域、保護者との距離を少しでも縮められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPなどの情報発信を継続して続けていく。</li> <li>・学校だよりに学校の方針や具体的な取組など掲載し、学校としての思いや様子を理解いただける機会となるようにする。</li> </ul>
	地域との連携	運営協議会の方々の意見 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会に方々が学校の取組に対して賛同いただいているとともにたいへん協力的であるため、学校の大きな支援をいただいている。地域の方々も学校に入り入りいただき、様子を見ていたいている。また、地域との交流には多くの参加者があり、子どもを温かく見守っていたいていることを実感している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が地域の行事にできる範囲で何らかの形で参加して、教職員の顔が地域でも保護者にもわかるようにしていく取組を推進していく。</li> <li>・学校運営協議会との連携をますます密にし、学校運営に参画いただくとともに、ご支援ご助言を日々の教育活動に生かしていく。</li> <li>・PTAと地域、学校の連携がますます深まるように、地域の拠点としての役割を担えるように努めていく。</li> </ul>
	開かれた学校づくり	HPや学級だよりに対する評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明徳農園の取組に対して、今年度の取組を継承しながら、より子どもたちが主体的に活動できる仕組みや思考・判断につながる取組の充実を図る。</li> </ul>

## 【資料7】

## 学校評価項目一覧

京都市立明徳小学校

				子ども	保護者	教職員
1	知	意欲的な学習	主体	めあてにむかって進んで学習に取り組んでいる	子どもはめあてにむかって意欲的に学習に取り組めている	子どもを意欲的に学習に取り組めるよう授業の工夫をしている
2	知	学習への粘り	思考・表現	わかるまで粘り強く学習に取り組んでいる	子どもはわかるまで粘り強く学習に取り組んでいる	子どもが粘り強く学習に取り組めるように支援している
3	知	読書の習慣	主体・表現	自分から進んで本を読んでいる	子どもは家庭でも読書している	子どもが進んで読書できるよう働きかけをしている
4	知	話す書く	思考・表現	自分の考えをきちんと話したり書いたりしている	子どもは自分の考えをきちんと話したり書いたりできている	子どもが自分の考えを話したり書いたりできるような取組をしている
5	知	主体的な学習	主体	家で宿題や家庭学習をいつもしている	家で宿題や家庭学習を進んでできている	子どもが継続的に家庭学習できるような支援をしている
6	知	学習規律	主体・表現	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢や態度で学習に取り組めている	子どもが人の話をしっかりと聞いて、良い態度で学習しようとしている	子ども同士の話し合い活動ができるような学習規律を整えている
7	徳	ルールの遵守	思考・表現	学校や家庭のルールを守っている	子どもは学校や家庭のルールを守っている	決まりやルールを守ろうとする態度を養えている
8	徳	挨拶の習慣	主体	自分から進んで挨拶をしている	子どもは挨拶をする習慣を身につけている	気持ちよく挨拶をする習慣を養えている
9	徳	整理整頓	主体・表現	進んで掃除をしたり、スリッパやはきものをそろえている	子どもは、進んで整理整頓がでたり、はきものをそろえたりできている	掃除やはきものをそろえるなど人のことを考えて行動する態度が養えている
10	徳	思いやりの心	思考・判断	人の嫌がることや悪口をいったりしていない	子どもは、仲間をおもいやり、仲よくすることができている	人権を基盤とした人間関係を築く心情を育てている
11	徳	言葉づかい	判断・表現	言葉づかいに気を付けている	子どもは、その場に応じた言葉づかいができる	場や相手に応じた言葉づかいができるような指導をしている
12	徳	挑戦する心	主体	苦手なことでも挑戦しようとしている	子どもが苦手なことに挑戦しようとしている	何事にも挑戦しようとするする態度を育んでいる
13	体	バランスのよい食事	思考・表現	給食を好き嫌いせず、食べている	子どもは好き嫌いをしないで食事ができている	好き嫌いをせず、しっかりと給食を食べるような指導を心がけている
14	体	運動意欲	主体・表現	外遊びなどすすんで体を動かしている	子どもは、積極的に外遊びやスポーツをして、体をうごかしている	積極的に外遊びをしたり、体を動かしたりすることを進めている
15	体	安全指導	判断・表現	交通ルールを守って安全に登下校している	子どもは、交通ルールを守って安全に登下校できている	安全に行動できるような指導をしている
16	独自	登校への意欲			子どもは登校することを楽しみにしている	
17	独自	学校との連携			学校、学級だよりやホームページなどで学校の方針や様子がよくわかる	
18	独自	学校との信頼関係			学校に気軽に相談ができる	
19	独自	地域連携			学校は地域と連携しながら教育活動を行っている	
20	独自	活動への参加			PTA活動や地域行事に参加・協力できている	